

志波城だより

～ いにしへの風にあひ～
Vol.5 H24.2.10号
盛岡市教育委員会発行
担当 歴史文化課 019-639-9067

みなさん こんにちは。今号で第5回目となる「志波城だより」です。
2月4日立春を迎え暦の上では春となりました。桜が咲く時期までにはもう少し冬と向き合っていかなければなりません。積もった雪を見ては春を心待ちするのも風情がありますね。

志波城の歴史 ～ 陸奥国最北端の古代城柵 ～

◆ 役人と兵士のくらし ◆

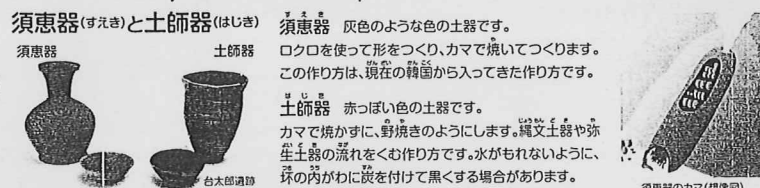


城内からは人々が使っていた土器や鉄製品などが出土します。



◎ 土器は須恵器(すえき)という窯を使って高温で焼いたものが多く、特徴として「食器である杯や碗、蓋のほかに役人が使う石見(すずり)があります。

志波城跡からは周辺の集落からあまり出土しない石見や蓋などが多く出土しているのが特徴です。



◎ 土器の種類と用途

煮る
土師器(はじま)の甕(かめ)はおもに煮炊き(に)使う

盛る
土師器の杯(さ)と須恵器の杯(さ)はおもに盛り付け(に)使う。底に台がついているものもあります。

今から約1,200年前にも、これほど沢山の種類のうつわがあったのね

見守める
須恵器の長頸瓶(ながけいびん)や平瓶(へいびん)右瓶や壺、須恵器の甕はお酒や水などを入れます。

出土した土器からは地域の特徴や年代、人々の生活の様子などが色々と垣間見ることが出来ます。

蒸す
土師器の甕(に)し
現在の蒸し器にあたります。中にお米を入れた甕を甕の上におき、マドで蒸して調理していました。

むかしの人もお米をたいて食べていたんだ!!

★ 志波城古代公園案内所 019-658-1710 9:00～17:00

志波城を造営した坂上田村麻呂ってどんな人?

桓武天皇(奈良時代～平安時代)より東北平定の命を受けた人物～武将のカリスマ～

私の理想の田村麻呂像

三浦春馬似のイケメン

長身でバランスのとれた体型



清潔感がありさわやか

偉大のような笑顔が魅力

ステキ

実際の田村麻呂は...

俺が田村麻呂だ!!

こんな感じ?!



身長約175cm
胸の厚さ36cm

髪の毛重さ120kg!! (流行)

当時のイケメンは俺

「日本後記」や「田村麻呂伝記」によると、田村麻呂は...

- ・身長約175cmで胸の厚さが36cm
- ・赤い顔 (当時は緑起が流行していたので目立つ?)
- ・目は青い鷹の瞳のようで耳の毛は金色の縮れ毛
- ・怒ると猛獣がたちまちおれ、笑えば女が思もすぐにはつく
- ・髪は重い時は120kg、散髪しても38kg

強さと優れをもった武将だったのね

数々の伝説があるから実際はどんな人だったのか定かではないんだヨ

京都にある世界遺産に指定されている「清水寺」も田村麻呂が創建したと伝えられています。



・坂上田村麻呂の子
・高い身分の出身ではないが力量をかわれ武将のトップである征夷大将軍となる

志波城イベント情報

国史跡 志波城跡
発掘調査35周年記念講演会
古代城柵最前線～調査35年の歩み～



進藤秋輝氏(元東北歴史博物館館長)による基調講演や各講師による講演会を行います。皆様お誘いあわせのうえぜひお越し下さい。

- ・平成24年3月3日(土) 13:00～17:00
- ・都南市都南公民館小ホール
盛岡市永井24-10-1 TEL 019-637-6611
- ・問い合わせ 盛岡市教育委員会歴史文化課
TEL 019-639-9067 FAX 019-639-9047

第1部 東北北部の古代城柵の調査の歩みとその成果

～胆沢城・徳丹城・志波城の歩みとその成果の報告～

第2部 「古代城柵最前線」

～35年前の志波城跡調査から現在の35年～
古代城柵研究者と当時の関係者、新聞記者によるトークセッション
共催 志波城跡愛護協会
協力 盛岡市中央公民館 太田分館

「志波城だより」は志波城古代公園活用事業の一環として発行しております。